



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



令和4年4月28日
横浜市立上白根小学校
【5月号】



アップデートしたスポーツフェスティバルに

校長 山崎 由美

3月に満開を迎えた桜もすっかり散り、新緑が力強く輝き始めました。4月に入学・進級した子どもたちも、最初のうちはなんとなく所在なさげに登校していましたが、次第に友達に声をかけたり、「今日は〇〇がある。」と楽しそうに言ったりするなど自分らしさが見られるようになってきています。1年生も送ってきてくれた保護者と別れるのに名残惜しそうだったり、保護者も心配で昇降口や教室まで付き添ったりしていましたが、今では力強く前を向いて登校できるようになりました。

さて、子どもたちが学校生活に慣れてきたところで、来月スポーツフェスティバルを実施します。コロナ禍になり3度目を迎えるスポーツフェスティバルです。2年前は、4、5月の休校を受け、春の運動会は実施を見送りそれでもなんとか子どもたちの姿を保護者の方々に見ていただきたいと秋にブロックごとの演技発表会を行いました。そして昨年度は、感染症対策をとったうえで運動会らしい競技も入れたいと徒競走・リレーも行い、スポーツフェスティバルと名前も変えて行いました。

今年度は、何を足していけるか昨年度の教職員・保護者のアンケートの内容を検討した結果、徒競走・リレーの距離を学年に応じて伸ばしたり方法を変えたりするなどアップデートして行くことを決めました。さらに6年生が各ブロックの運営の補助を行い、最高学年としての意識を高める取組も取り入れます。毎年形を変えているので、ひょっとしたらうまくいかない部分もあるかもしれません。しかし、例年通りに行くのではなく、コロナの対応も行ったうえで、できることを増やしていこうと、年度初めのあわただしい中ですが、一歩ずつ前進するために何度も話し合いを重ね、方法を考えました。昨年通りに行えば心配なくできるとは思いますが、本校職員は少しでも子どもにとっても保護者にとってもよりよい方法で行うことを大切にしています。それでも、お世話になっている来賓の方々に来ていただくことは難しかったり感染の状況が変われば保護者の方の人数をさらに制限したりすることがでてくるかもしれません。スポーツフェスティバルのように学校で行う大きな行事の開催には、近隣の方のご理解も必要になります。この行事で感染者が複数であるようなことがあれば、次年度以降の開催にも影響します。そのため、保護者の皆様にも願います。することも多くなると思いますが、お子様の気持ちの支えになっていただくと同時に学校からの様々なお願い事項を守っていただき、子どもたちが精一杯頑張れるように、そしてその姿を保護者の皆様が楽しく安心して応援できるようにご協力をお願いいたします。